Cyber-SIGN for Windows Mobile Ver.2.0.0

取扱説明書

ウィッツェル株式会社

Cyber-SIGN®

目　次

1. はじめに....1
1.1. システム概要....1
2. 署名の登録....2
2.1. 署名登録を開始する....2
2.2. 登録する署名を決定する....3
2.3. 署名の練習をする....5
2.3.1. 署名描画位置補正機能について....6
2.4. 署名を登録する....7
2.5. 署名をテスト照合する....9
2.6. 署名照合を有効に設定する....11
2.7. 解除パスワードについて....12
2.7.1. 解除パスワードの登録....12
2.8. 設定完了....13
3. 署名の練習をする....14
4. 登録署名を削除する....16
5. 署名照合を行う....18
5.1. 署名照合で端末のロック解除を行う....18
5.2. 解除パスワードを使用する....19
5.3. ロック中の着信／通話....21
5.4. ロック中のアラーム....22
6. 署名照合についてのトラブルシューティング....23
6.1. 署名の照合で常に失敗してしまう....23
6.2. 署名照合に失敗したとき、電源が切れてしまう....23
6.3. 署名を忘れてしまった....23
6.4. 起動時に署名照合を行うように設定したが、署名の入力が要求されない....23
7. 環境設定を行う....24
8. 簡易ヘルプ....25
9. PCとの連携について....26

1. はじめに

Cyber-SIGN for Windows Mobile をご使用いただきありがとうございます。
株式会社 東芝社製 WindowsPhone T-01B に出荷時に搭載されている Cyber-SIGN for WindowsMobile は、T-01B で無料でお使いいただけます。

バイオメトリクス（生体認証）による Cyber-SIGN for Windows Mobile をお使い頂くことによって、大切なビジネスデータや個人情報を守るセキュリティ機能が向上します。
この強力かつ信頼性の高い Cyber-SIGN 署名照合システムをこれからもパートナーとしてご活用ください。

このソフトウェアは Microsoft® Windows Mobile 6.5.3 を搭載した Windows Phone にて Cyber-SIGN for Windows Mobile をお使い頂くための基本的な情報が記載されています。
ご利用される前に一通りお読みください。

1.1. システム概要

Cyber-SIGN for Windows Mobile では電源ON時およびサスペンドからの復帰時に Cyber-SIGN 署名照合システムによってご本人の認証を行います。

署名照合は署名の形状だけでなく、指の動きを捉えることで

書き順 や スピード、リズム、時間

といった情報から本人の署名かどうかを判断しています。
Cyber-SIGN の署名照合とは、登録署名データと対象署名データを比較して本人の署名の確認を行なうことを指しています。

Cyber-SIGN for Windows Mobile では、以下の機能を選択して使用することができます。

1. 電源ON時およびサスペンド状態からの復帰時に署名入力を要求し、それを照合することによって、本人以外が Windows Phone 内の情報を参照・編集することを防止する。
2. 通常、Microsoft ActiveSync によって自動的に可能になるパーソナルコンピュータとの同期とファイルの操作を禁止し、署名照合が成功した場合のみこれを可能にする。

2. 署名の登録

ここでは署名の登録の手順について説明します。

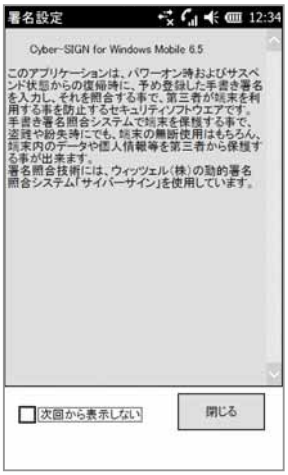
Cyber-SIGN for Windows Mobile では、署名入力を安定させるという目的のために Windows Phone の画面を「縦表示」した状態で最適化されています。
Cyber-SIGN for Windows Mobile にて、署名の登録を行う場合には画面表示を縦表示にしてお使いいただくことをお勧めいたします。

2.1. 署名登録を開始する

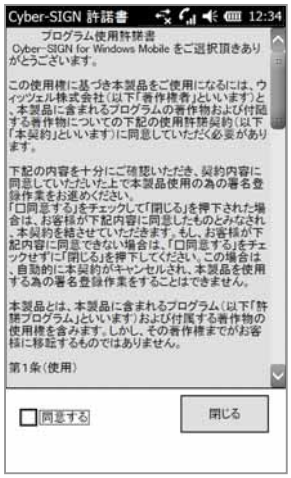
署名登録を開始するには、以下の手順またはホーム画面のショートカットアイコンで 設定画面を開きます。

1. [スタート]-[設定]-[システム]の

アイコンで起動します。
2. 起動直後にソフト紹介画面が表示されます。
3. 「□次回から表示しない」チェックボックスをチェックしますと、以降このメッセージは表示されなくなります。

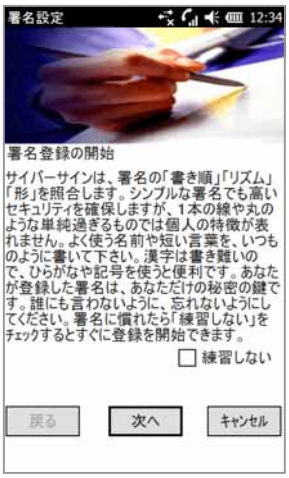


4. ソフト紹介画面を閉じると、「署名設定」-「署名管理」画面が表示されます。



署名の登録を開始するために［登録］ボタンをタッチします。
初めて署名を登録する際は「許諾書」画面が表示されますので、「同意する」チェックボックスにチェックを入れてから、[閉じる]ボタンで画面を閉じます。

2.2. 登録する署名を決定する

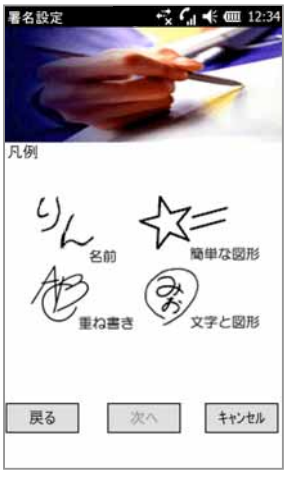


ここでは署名の登録を実際に行う前に、ご自身で安定して書くことができる署名を凡例を参考に決定し、練習することができます。

すでに登録する署名を決めてあり、なおかつ登録の経験があって、練習の必要がない場合には
”練習しない”チェックボックスをチェックすることで練習をしないで登録が始められます。

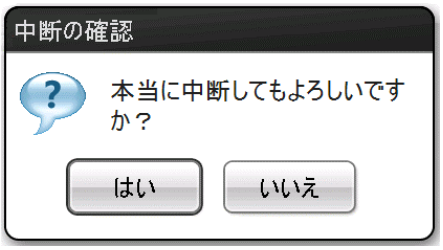
登録するためには、形状やスピード、筆順、が安定した署名を書くことが必要になります。
（実際の登録手順では、登録と照合テストのために合計４回の署名の入力が要求されます。）

あまりに単純な署名（例えば ”一本の線”や”丸”のような単純過ぎるもの等）は個人の特徴が現れません。
真似をされた場合、本人以外でも本人と認められてしまうことがあります。
凡例を参考にして、真似されにくい署名でご利用してください。



署名の練習を行なうことで緊張を解き、登録時にはリラックスしてゆっくりと書き慣れた署名を入力することができます。
署名の形状については［凡例の参照］ボタンをタッチすると署名の凡例を表示します。

［キャンセル］ボタンをタッチすると、確認ダイアログが開きます。



［はい］　　：登録処理を中断します。
［いいえ］　　：中断処理をキャンセルします。

2.3. 署名の練習をする

署名の練習画面が開きます。署名の登録を行う前に署名の練習を行います。

署名の練習は３回行います。

署名の練習を始めます。

入力しないまま５０秒が過ぎるとタイムアウトして、署名が入力されないまま確認表示されます。

署名入力画面上に署名を行います。

署名の入力が終わるたびに入力した署名を表示します。

形状を確認後［次へ］をタッチします。

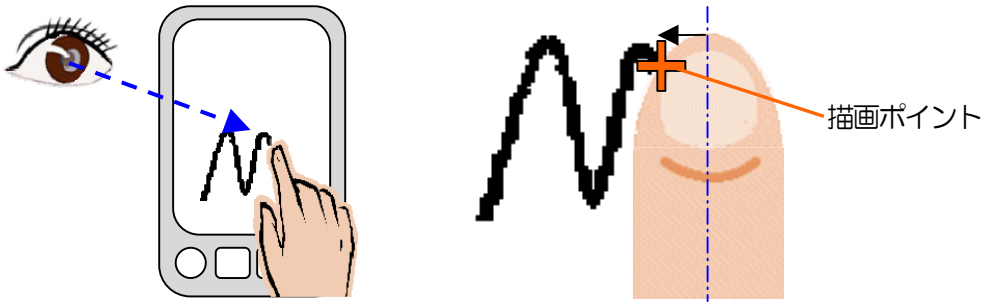
［戻る］ボタンをタッチすると署名入力画面に戻り練習を続けることができます。

練習の署名入力を3回行なうと、署名の練習は終了です。
次に署名の登録を始めます。

署名の登録中は電源を切らないでください。
電源を切る場合は、登録操作を終了後に行なってください。

2.3.1. 署名描画位置補正機能について

署名描画位置補正機能は、指で署名を行なう際に描画線が指で隠れてしまい署名がしづらくなることを防ぐ機能です。
署名描画中の線が目で見えるように、署名を行なう際の利き手設定により描画位置を補正します。
右手の指で署名を行なう場合は、描画ポイントの左側から見ますので、指の中心よりも少し左側を描画ポイントとして署名の線を描画します。



左手署名の設定は、「7. 環境設定を行なう」の「左手署名」を参照してください。

2.4. 署名を登録する

署名を登録するには、本人の特徴を認識するため、安定した署名をする必要があります。
ここでは同じ署名を3回書いていただき、本人の特徴を取得します。
署名入力用の画面が表示されたら署名を行なってください。

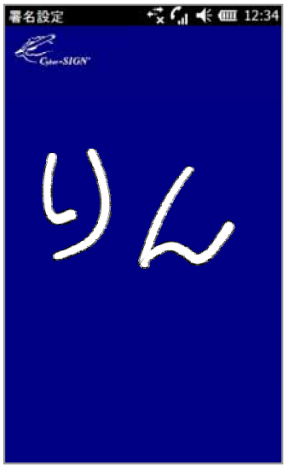
3回書かれた署名から、本人の特徴が認識できた場合には認識された署名が表示されます。
もし、3回の署名の中で本人の特徴が認識できなかった場合にはエラーが表示されます。
特徴の認識が失敗した場合、3回の署名の中で以下のような署名があったことが原因として考えられます。

・署名の形が違うものがある。
　小さな点があったか、無かったかでも違う署名として認識します。
・署名を書くスピードが極端に違った。
　署名を書き始めてから、書き終わるまでの時間が極端に違った場合は同じ署名と認めません。
・署名の書き順が違った。
　書き順の違ったものは同じ署名と認めません。
　毎回同じ順番で書いてください。

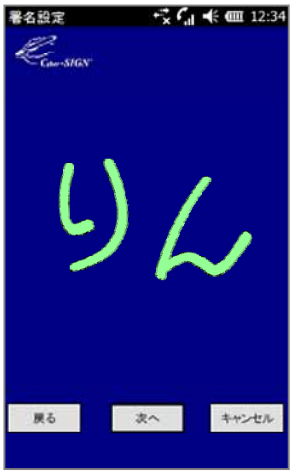
署名の練習が終わりますと、［登録の開始］画面が開きます。
［次へ］ボタンをタッチして、登録操作を行ってください。

署名の登録は、署名の入力を３回行います。
入力しないまま５０秒が過ぎるとタイムアウトして、署名が入力されないまま確認表示されます。

署名入力



署名確認

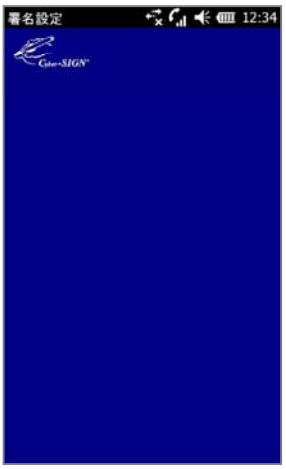


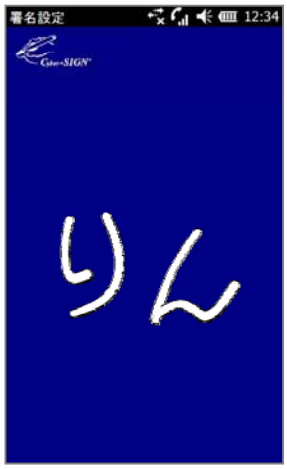
署名の入力が終わるたびに確認画面が開きますので、確認後［次へ］ボタンをタッチしてください。
入力／確認の手順が終了すると、登録する署名の形状を表示し確認します。
表示した署名で良ければ[次へ]ボタンをタッチしてください。
署名を書き直す場合は［戻る］ボタンをタッチします。

入力された署名が不安定な場合は入力エラー画面を表示します。入力エラーの場合は、続けて3回の登録操作を行なえます。
［次へ］ボタンをタッチすると登録開始画面に戻ります。

2.5. 署名をテスト照合する

登録終了後、[照合テスト]画面が開きます。
ここでは登録した署名が照合されるかテスト照合をします。





署名入力画面が開きますので登録した署名を行ないます。
署名が照合された場合は、[署名登録終了の確認]画面が表示されます。

署名の照合に成功した場合、署名登録が完了したことが通知されます。
これで署名登録は終了です。
[完了]ボタンで、”起動時に署名照合を利用するか選択”のダイアログが表示されます。
署名照合の利用確認ダイアログで[はい]を選択すると、「解除パスワードの登録」画面に進みます。

署名の登録中には絶対に電源を切らないでください。
登録署名データが破損する可能性があります。

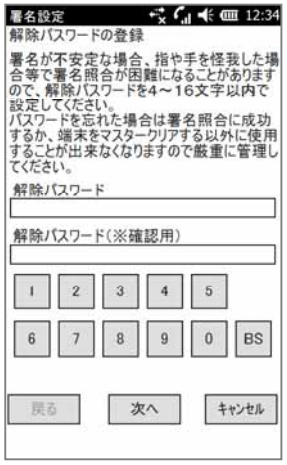
署名が照合されなかった場合は再度、署名の登録を行います。

照合されなかった場合は再登録を促す画面を表示します。
［次へ］ボタンにより［登録］画面に進みます。
［キャンセル］ボタンにより［署名管理］画面に戻ります。

2.6. 署名照合を有効に設定する

WindowsPhone の起動時に署名の照合を行うように設定します。
一度 終了された場合は、[Cyber-SIGN]-[署名設定]を開いてください。
「設定」画面を開きます。この画面が表示されます。

署名照合を有効にする設定は、［□署名照合を利用する］チェックボックスです。
こちらのチェックボックスにチェックを入れることで、次回の起動時から常に署名照合を行うようになります。
署名登録完了直後の”起動時に署名照合を利用するか”の選択ダイアログで[はい]選択すると、この画面が表示されます。



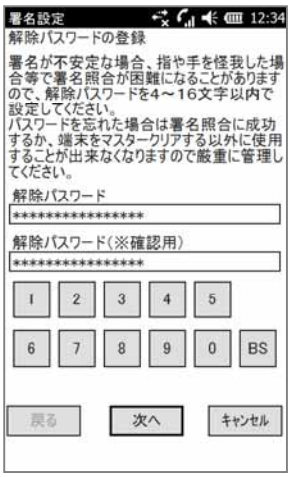
［□署名照合を利用する］チェックボックスにチェックを入れると、［解除パスワードの登録］画面が開きます。

2.7. 解除パスワードについて

Cyber-SIGN for Windows Mobile は電源ON時およびサスペンド状態からの復帰時に署名照合によって端末内の情報を第三者から守ります。
署名照合が行えない場合、Windows Phone の中の情報を見ることができなくなります。
「解除パスワード」は Windows Phone の持主である本人が手に怪我をしてしまった、あるいは登録した署名を忘れてしまったといった理由で、署名の照合が不可能になった場合にそなえた代替認証機能です。
署名照合を有効にするには、必ず ”解除パスワード” が必要です。

2.7.1. 解除パスワードの登録

署名照合に成功しない場合、解除パスワードを使用することでご使用ユーザーと判断します。
“解除パスワード” 及び、”確認パスワード” に同じパスワードを入力して[次へ]ボタンで進んでください。
解除パスワードには最小 4 文字以上、最大 16 文字まで、画面上の専用キーボードから入力する数字のみ使用可能です。



解除パスワードの実際の使用方法は「5.2. 解除パスワードを使用する」をご参照ください。

解除パスワードを入力する場合は、画面上の専用キーボードをご利用ください。

2.8. 設定完了

［□署名照合を利用する］チェックボックスにチェックをいれ、［解除パスワード］についての設定を完了しますと、再度［設定］タブが表示されます。
［□署名照合を利用する］にチェックが入った状態になっている事を確認してください。

これで署名照合での端末ロックの設定は終了です。
運用に合った照合方法を設定してからご使用ください。

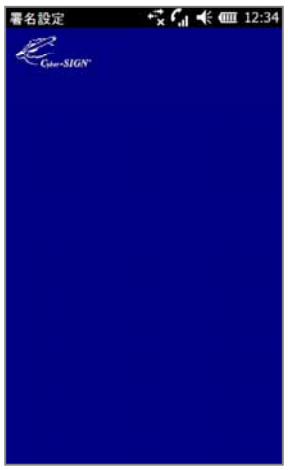
実際にご利用される前に、一度署名の練習を行うことをお勧めします。
（練習手順は「3. 署名の練習をする」を参照してください。）
※ 各設定項目の詳細は、「7. 環境設定を行なう」を参照してください。

既に署名が登録されている場合は、エラーメッセージが表示されます。
登録署名を削除してから、登録を行ないます。

3. 署名の練習をする

署名照合に慣れるために署名の練習をします。

署名管理画面の［署名の練習］ボタンをタッチします。



署名入力画面が表示されますので、署名を入力します。
入力しないまま５０秒が過ぎるとタイムアウトし照合失敗となります。

署名の照合に成功すると、メッセージが表示されます。

署名照合に失敗した場合は、このメッセージを表示します。
[戻る]ボタンで、署名入力画面に戻ります。
[キャンセル]ボタンで、署名の練習を中止します。

署名照合を3回繰り返して失敗した場合、エラーメッセージを表示をします。
署名の練習は、繰り返し何度でも練習することができます。

署名の登録を行っていない場合、署名の練習を行うことはできません。
署名の練習は、「署名照合を利用する」を解除してから行なってください。

4. 登録署名を削除する

ここでは既に登録された署名の削除について説明します。

［署名の削除］ボタンを選択します。

署名削除の実行確認のダイアログが開きます。［はい］ボタンで削除されます。

登録署名データが削除されました。

“署名照合を利用する” が有効に設定されている場合は、自動的に設定が解除されます。
このとき、「署名の軌跡を表示する」設定と「左手署名」設定を初期設定値に戻します。

署名の登録を行っていない場合、署名の削除を行うことはできません。

5. 署名照合を行う

ここでは起動時の署名照合について説明します。

5.1. 署名照合で端末のロック解除を行う

［□署名照合を利用する］にチェックがある場合、端末の電源投入の際およびサスペンドからの復帰の際に署名の入力を要求されます。

登録した署名を入力してください。
署名の照合に成功するとWindows Phoneの通常画面が表示されます。

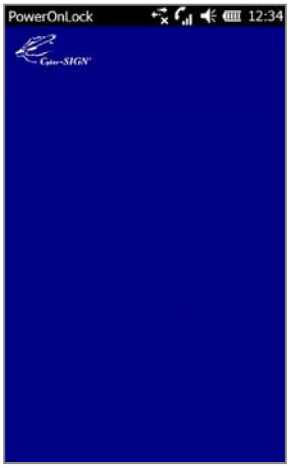
署名の照合に失敗した場合は、「残念ですが…」と署名照合失敗画面が表示されます。
署名の照合が3回失敗した場合は、Windows Phoneをサスペンド状態にします。

［キャンセル］ボタンをタッチした場合は、署名照合をキャンセルし、Windows Phoneをサスペンド状態にします。

5.2. 解除パスワードを使用する

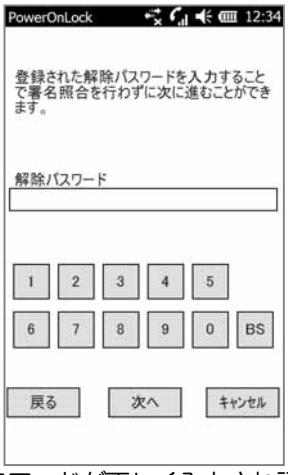
手に怪我をしてしまった、あるいは登録した署名を忘れてしまったといった理由で署名照合が不可能になった場合にそなえた機能として「解除パスワード」が用意されています。
解除パスワードの登録方法については「2.7. 解除パスワードについて」を参照してください。
ここでは解除パスワードの使用方法について説明します。

1. 「署名照合を利用する」が有効設定されている状態で、Windows Phone の電源を入れます。
   もしくは、サスペンド状態から復帰させます。
2. 署名の入力が要求されます。



3. 署名の照合に失敗しますと、署名照合失敗画面が表示されます。
   この画面から「解除パスワード」入力画面に移動できます。

4. 画面中の[解除パスワード]ボタンで、「解除パスワード」入力画面が表示されます。



5. 解除パスワードが正しく入力され認証されますと、Windows Phone の通常画面が表示されます。

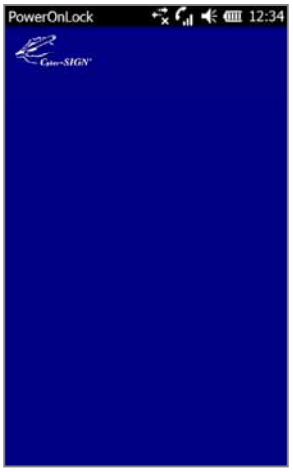
解除パスワードを入力する場合は、画面上の専用キーボードをご利用ください。

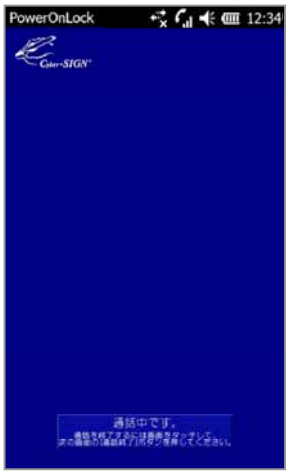
解除パスワードにより署名照合に成功した場合と同じ状態にします。
この機能は不正に使用される恐れがありますので、署名および解除パスワードを再登録することをお勧めいたします。

解除パスワードが一致しない場合は、エラーメッセージを表示します。

5.3. ロック中の着信／通話

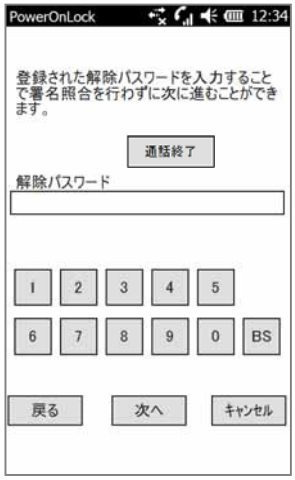
署名照合が成功する前のロック中に着信があった場合の動作について説明します。





ロック中に着信があると、”電話” アプリがポップアップして着信を知らせます。
署名入力画面で通話を開始すると、画面上には通話中を示すメッセージが表示されます。

ロック中に通話を終了するには、署名入力画面をタッチして次の画面に進みます。



通話中は画面に［通話終了］ボタンが表示されます。［通話終了］ボタンで通話を終了します。
［戻る］ボタンで、署名入力に戻ります。通話中は、画面上には通話中を示すメッセージが表示されます。

5.4. ロック中のアラーム

署名照合が成功する前のロック中にアラームが鳴った場合の動作について説明します。

ロック中にアラームがあると、アラームアイコンが表示されます。
ロック中にアラームを消すには、署名入力画面をタッチして次の画面に進みます。

画面中の［アラームを消す］ボタンでアラームを消します。
［戻る］ボタンで、署名入力に戻ります。

6. 署名照合についてのトラブルシューティング

ここでは署名照合についてのトラブルシューティングとその対処法を説明します。

6.1. 署名の照合で常に失敗してしまう

署名の照合に失敗してしまう場合、以下の原因が考えられます。

・登録時と違った署名を書いている。
解除パスワードを使用してパスワード認証を行い、署名を登録しなおしてください。

・書き慣れていない署名を書いていませんか。
書き慣れていない署名は本人が書いても特徴が異なることがあります。署名を書き慣れたものに変更するか、「7. 環境設定を行う」を参照して照合レベルを下げてください。
（署名に慣れてきたら照合レベルを高くすることをお勧めします。）

・登録時と筆跡が変わってしまっている。
署名を書いている姿勢や状況が、登録時と照合時で異なることにより署名が変わり、登録署名と照合されないことがあります。
常に署名照合に失敗してしまう場合は、署名を一度削除し、安定した状態で署名が入力できる状態で再度登録しなおしてください。

6.2. 署名照合に失敗したとき、電源が切れてしまう

署名照合に3回失敗すると自動的にサスペンド状態にします。
署名照合が成功しない場合は、解除パスワードを使用してください。
解除パスワードを忘れてしまった場合は、マスタークリアを行ない、Windows Phone を工場出荷時の状態に戻してください。

6.3. 署名を忘れてしまった

何度チャレンジしても署名の照合ができない場合は、登録署名と違うことが考えられます。
対処方法としては解除パスワードを使用して、パスワード認証を入力することで署名照合に成功したのと同じ状態にすることができます。

一度、解除パスワードを利用された場合は、署名と解除パスワードを再登録されることをお勧めします。
署名の登録に関しては本書「2. 署名の登録」を参照ください。

6.4. 起動時に署名照合を行うように設定したが、署名の入力が要求されない

署名の登録完了後［□署名照合を利用する］のチェックを入れた状態でも、起動時に署名照合がされずに「PowerOnLock.exe を実行することができません」というエラーが表示されることがあります。
このエラーメッセージは、Cyber-SIGN for Windows Mobile を外部記憶媒体にインストールした場合に表示されます。
Cyber-SIGN for Windows Mobile は必ず本体内にインストールしてください。

7. 環境設定を行う

ここではCyber-SIGN for Windows Mobileの動作環境を設定について説明します。

この画面は初期設定状態です。

［設定］画面を表示します。
Cyber-SIGN 動的署名照合システムの設定画面が開きます。
必要な個所にチェックを入れます。

□署名照合を利用する（チェックボックス）：
Windows Phoneの電源ON時およびサスペンドからの復帰時に署名照合を行います。
これによって署名を登録した本人の署名以外ではWindows Phoneを使用することができなくなります。

署名を登録しなければ有効に設定することはできません。

□署名の軌跡を表示する（チェックボックス）：
署名照合時に署名の軌跡を表示するかどうかを指定します。

署名に慣れたら、署名の軌跡を表示しない設定にすることをお勧めします。
軌跡が表示されないことで、第三者にはどんな署名を書いているのか分からなくなり、安全性が高まります。

□左手署名（チェックボックス）：
署名描画位置補正機能を左手での署名設定に切り替えます。
初期設定では、設定なし(右手署名)に設定されています。

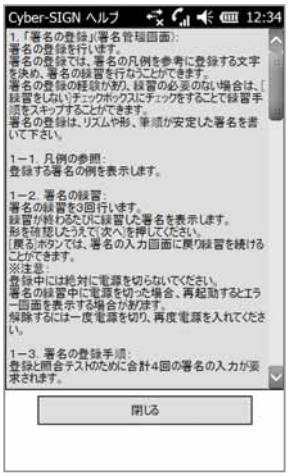
◎照合レベル（ラジオボタン）：
署名を比較する時の照合レベルを設定します。
レベルは、**［低］**、**［標準］**、**［高］**の３種類があります。
初期設定では**［低］**に設定されています。
［低］　を選択した場合は、登録されている署名との差が多少大きくても照合されます。
［標準］を選択すると、標準的な照合レベルで照合します。
［高］　を選択すると、登録されている署名との比較をより厳密に行います。

署名の入力に慣れていない場合は**［低］**に設定し署名入力に慣れ次第、設定を**［標準］**にすることをお勧めします。

8. 簡易ヘルプ

［署名設定］－［バージョン情報］画面を開きます。

本アプリケーションのバージョン情報が表示されます。
［簡易ヘルプ］ボタンにより、「簡易ヘルプ」を表示します。



［閉じる］ボタンで、［バージョン情報］画面に戻ります。

9. PCとの連携について

ActiveSync によるPC とWindows Phone との連携処理は特に設定が無ければ、
PC 側から Windows Phone のディレクトリ・ファイル内容を覗くことが可能になっています。

Cyber-SIGN for Windows Mobile ではこうしたセキュリティ上の問題に対処するために設定画面の**［□署名照合を利用する］**にチェックを入れた場合は **"電源を入れる"** から **"署名照合に成功する"** までPC との連携をロックすることができます。

ActiveSync によるPC との連携処理を行う場合には、USB ケーブルは、署名照合が成功した後に接続してください。

また、署名照合に成功してもPC 連携が始まらない場合は、一度USB ケーブルをWindows Phone から外し、再度接続しなおしてください。

Cyber-SIGN for Windows Mobile Guide *Ver 2.0.0*

２０１０年　４月　２８日　初版　　第１刷発行　　Version 2.0.0

編集／発行／製作／印刷

ウィッツェル株式会社
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-8-13 タカラビル
http://www.witswell.co.jp

不許複製
Copyright ©2010 Witswell Consulting & Services.Inc.　All Right Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について（ソフトウェア及びプログラムを含む）、ウィッツェル株式会社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本ソフトウェアの仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

Cyber-SIGN はウィッツェル株式会社の登録商標です。
本文中の他社の商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■本説明書に記載の操作方法についてのお問い合わせ先
【東芝モバイルホットライン】
一般電話・携帯電話・PHSから：０１２０－７８７－０４５
※受付時間：月曜日～金曜日 ９：００～１２：００　１３：００～１７：００
（祝日・お盆休み・年末年始等を除く）
パソコンから：https://www.webcoms.jp/mobile/form_j.php